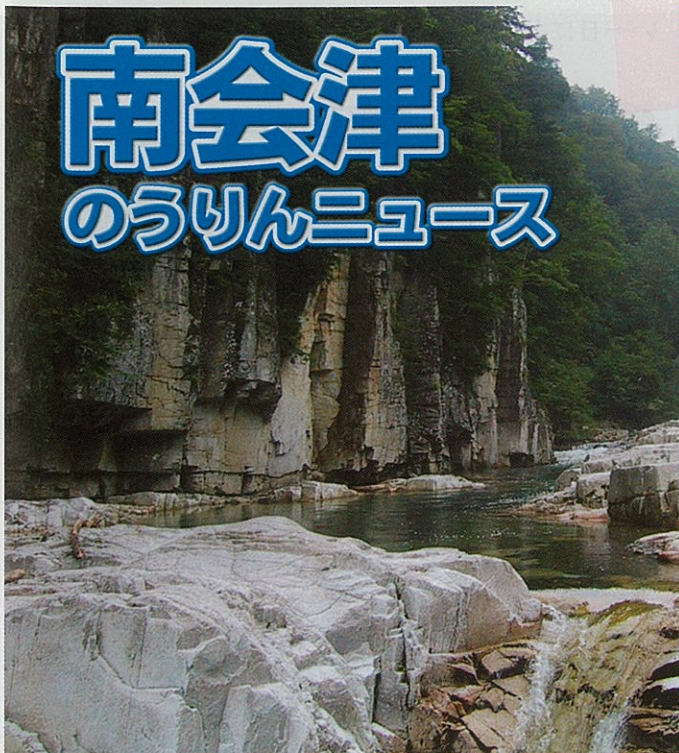


南会津 のうりんニュース



今月の写真：屏風岩 南会津町大桃(伊南地域)

夏真っ盛りと思っていた南会津も、気付けば盆を迎えました。親戚が集まるこの時期には思い出話に花が咲くものです。昔みんなで遊んだ屏風岩は、今ではどんな風に写るのでしょうか。変わらない自然がここにはあります。

今月の内容：

- 今月のトピックス
 - ・子ども農山漁村交流プロジェクト
いよいよ南会津で受入れ開始!!
 - ・イワナくん、元気でね~♪
 - ・ぼくもわたしも野菜ソムリエに!
 - ・森林セラピー実践活動、南会津各地に拡大!
- 特集!
 - ・集落営農活動を契機に取り組み直売・加工活動
- コラム
 - ・南会津を結ぶ甲子トンネル
- 農林事務所からのお知らせ
 - ・只見に直売所オープン! その名は元気村!!
 - ・第3回食彩ふくしま弁当チャレンジコンテスト開催!!
 - ・平成21年度福島県農業総合センター
農業短期大学校学生募集のお知らせ

平成20年8月11日発行 福島県南会津農林事務所

今月のトピックス



水棲生物の観察をする小学生

子ども農山漁村交流プロジェクト、 いよいよ南会津で受入れ開始!!

農 林水産省、総務省及び文部科学省では、全国の小学生が農山漁村で1週間程度の自然体験・集団宿泊体験活動を行うことを目指して、「子ども農山漁村交流プロジェクト」(愛称:ふるさと子ども夢学校)を平成20年度から推進しています。(のうりんニュース20年3月号参照) 県内からは南会津町が、喜多方市と共に全国50箇所の受入モデル地域として選定されました。

このうち南会津町には、全国235の推進校の1つに指定された伊達郡川俣町立福田小学校が6月に2泊3日で、さらに東京都江戸川区立篠崎中学校・上一色中学校がそれぞれ7月下旬から8月上旬にかけて2泊3

日で農家民宿などへ宿泊し、様々な体験をしました。福田小学校5、6年生27名は、駒止湿原での自然学習や星空観察、川での魚つかみや水棲生物観察などを体験しました。同じ県内でも違った環境に、子どもたちは貴重な時間を過ごしました。

また、篠崎中学校2年生146名及び上一色中学校2年生130名は、数名ずつ農家民宿へ分宿し、各農家が提供するイモ掘り作業などをしました。都市部では普段触れる機会の少ない農山村での生活や農業体験が、自然や食、農、労働の大切さを感じさせてくれたのではないのでしょうか。(企画部)

イワナくん、元気でね~♪

―― 斉に放たれたイワナの稚魚。「元気に育て~!!」と子どもたちの歓声が、夏の川原に響きました。

7月10日、森林土木協会主催によるイワナの放流事業が行われました。森林土木事業への理解を深めてもらう目的で毎年行われている事業で、今年は南会津町の針生小学校の生徒13名を対象に檜沢川支流の黒森沢川で行われました。

主催者からの挨拶の後は土石流の実験。土砂をいっぱい入れた水路の模型にバケツで水を流し込むと、ものすごい勢いで土砂が流れます。水の力と土石流の恐ろしさを感じました。次いで、治山ダムの模型を取り付け、再度、水を流し込むと今度はダムで土砂が止ま(2ページに続く)



土石流の実験をする子どもたち



イワナの放流をする児童

(1ページから続く)
りました。子どもたちは、治山ダム
の効果を目の当たりにして、目的を
理解したようです。

続いて、森林土
壌を模したろ過装
置の実験です。濁っ
た水をろ過装置に

流し込むと、下からは、ろ過されてきれいになった水
がゆっくりと流れ出てきました。「わー、きれいになっ
たー」と、子どもたちは感心したようでした。

実験の後、お待ちかねのイワナの放流。イワナの稚
魚、3千匹が一斉に放たれました。多少、弱った稚魚
もいましたが、川に放たれるとみるみる元気を取り戻
し、泳ぎだしました。子どもたちは、飽きることなく、
温かいまなざしでイワナたちを眺めていました。

最後に農林事務所職員が、森林と水について話し
ました。イワナが棲む川の水は、森林が育てているこ
と、森林がなければ、イワナが生きられないこと、な
どを説明しました。

終了後、「楽しかった」「ためになった」といった感想
が寄せられました。子どもたちにとって、忘れられな

い一日になったようです。

(森林林業部)

ぼくもわたしも野菜ソムリエに！

南会津教育事務所
主催の「キッズ野
菜ソムリエ養成講座」
に南会津郡内の幼児・
小学生17名が参加し、
只見町において6月に
開講しました。



トマトの定植をする参加者

この講座は、野菜生
産から調理体験を通し
て、食材への関心を高め、自ら望ましい食生活を実践
していく力(食べる力)の育成、及び食や生産者への
感謝の心を育成するものです。

前半は、三瓶農園(三瓶清志さん)において、トマト
栽培講座です。最初に苗の定植を体験し、参加者は
1人1本ずつ苗を持ち帰り、自宅ですべて育てています。
夏休みに入り、実が盛んについていることでしょう。

今後は11月までに、トマト選果場の見学や収穫、
渡部ユキ子さんのダイコン・ハクサイ栽培講座や調理
実習・試食、下水浄化センター見学などを予定してい
ます。続報をお楽しみに！(企画部・農業振興普及部)

森林セラピー実践活動、 南会津各地に拡大!!

みなさん、「森林セラピー」をご存知ですか？「森
林浴」を一步進めて、心と身体の健康維持・増
進を図ろうとするものです。

去る7月15日に、南会津地方森林セラピー研究会
による平成20年度第1回検討会を開催しました。

この研究会は、南会津郡内での森林セラピーによ
る地域振興の可能性について、民間や行政が一体と
なって検討することを目的に、平成17年以来活動
してきました。

検討会では、役員改選や活動計画などについて協
議しました。今年度の活動計画については、①南会
津町館岩地域・只見町などで展開する森林セラピー
実践活動の支援・情報交換 ②森林セラピーに関す
る人材育成のための講習会実施を柱とすることで承
認されました。

今年度は、過去3年間の研究会活動実績を踏まえ、
当地方に森林セラピーが定着する基礎を確立し、南
会津地域内外からお客様をお迎えできる体制づくり
を目標に活動していく予定です。

(企画部・森林林業部)

農林事務所からお知らせ

只見に直売所オープン! その名は元気村!!

国道289号、只見駅から南郷方面に車で5分程、
只見ショッピングセンター近くに今春、直売
所がオープンしました。その名も「元気村」です。経
営は只見農産加工企業組合(梁取徳雄組合長)がし
ています。

公共事業の激減で低迷している只見の町を少し
でも元気づけようとエゴマの栽培・搾油から始めた
組合です。元気村のイチ押し商品は勿論エゴマ油!!

その他にも黒じゅうねんのドレッシングなどエゴマ
商品が豊富です♪

また、只見・昭和近辺の農林水産物を中心に揃え
ているのも特徴です。秋には大根や只見名物トコロ
芋などが並ぶ予定です。近くにおいでの際は是非お
立ち寄り下さい!!

場 所: 只見町大字檜戸字椿
(只見町ショッピングセンター近く)

定休日: 毎週月・火曜日

営業時間: 午前10時～午後5時

電 話: 0241-82-2387

(企画部・農業振興普及部)



集落営農を契機に取り組む直売・加工活動

現在、南会津管内で集落営農に取り組んでいる集落は27集落あります。多くは水稻の作業受委託や担い手への農地集積等を中心とした活動ですが、近年は直売所の運営や農産加工に取り組む事例も増えてきています。そこで今回は、これらの活動に取り組んでいる事例をご紹介します。

直売部門では、昨年从小立岩営農改善組合(南会津町伊南地域)で「よってけやれ直売所」を運営しています。尾瀬への玄関口である国道352号沿線の集落の真ん中という絶好の立地条件と、今年新たに購入した名前入りのテントで、昨年以上に組合員のヤル気がみなぎっています。今年は8月3日(日)～11月2日(日)の毎週日曜日9時～15時まで営業します。



買い物を楽しむ方々

また、先日7月19日(土)にオープンしたばかりなのが、梁取営農改善組合(只見町)の「よくきやつた直売所」です。国道289号から集落



落成式にてテープカットをする参加者

の中に少し入った農村公園内に常設の直売所を建てました。オープン初日には餅まきや神楽等のイベントが行われ、大人から子供まで大勢のお客さんでにぎわいました。今年は11月までの土・日・祝日の10時～15時までの営業を予定しています。

さらに、たのせ営農改善組合(南会津町舘岩地域)では集落内に新設された農村公園で今年度中に直売活動を始める予定です。

加工部門では、今年4月に南倉沢営農改善組合(下郷町)の女性が、餅を中心に製造・販売を始めました。南倉沢地区は、今年9月21日(日)の国道289号甲子トンネル開通に伴い、白河方面への新たな交通の要所となります。建設中の道の駅内の食材供給施設での直売も予定しており、より活発な活動が期待されています。

皆様にもこれら集落での活動に触れていただき、今よりも更に活発な、そして、売り手買い手双方にとって笑顔あふれる活動となりますよう、直売所へのお越しをお待ちしております。

(農業振興普及部)

農林事務所からお知らせ

第3回食彩ふくしま 弁当チャレンジコンテスト開催!!

今年も「高校生による高校生のためのお弁当コンテスト」が開催され、若い皆様のアイデアあふれるお弁当を募集しています♪

昨年も南会津の自然の恵みを感じられるような色彩豊かなお弁当たちがコンテストを賑わせました。

地元の食材で創った美味しいお弁当で、暑い夏を乗り切りましょう♪

なお、詳しい情報は、安全安心ふくしまの農林水産物HPにてご覧ください。

<http://www.pref.fukushima.jp/an-ryu/20bento-challenge/challenge.htm> (企画部)

受付期間 平成20年7月1日(火)～9月2日(火)

- 応募条件**
- ① 県内の高校に通う高校生であること。
 - ② アイディアあふれるもので、手軽に作れるものであること。
 - ③ 県産のお米(うるち米)を使用すること。
 - ④ 輸入食材や市販の冷凍食品の使用は不可とする。
(自家製の冷凍食品は使用可)
 - ⑤ その他

応募先 JA福島中央会 農政広報課
電話 024-554-3071



甲子道路から見渡す風景

トンネルの現場を見学する機会があり、坑内に入ることができた。ほぼ完成に近く、接続する道路の工事が急ピッチで進められていた。

国道289号線は、新潟と県内のいわきを結ぶ道路であるが、これまで西郷村と下郷町にまたがる甲子峠に阻まれて通行が不能になっていたがトンネルによって結ばれることになる。

下郷町から隣の西郷村まで45分で行き来できることになり、地域の人と物の流れが大きく変わることが予想され、雪の降る地域ではなおさら期待が大きいのではないだろうか。白河で買い物をしたり通勤の可能性も出て来る一方、直接、新幹線や高速道路を利用することで南会津に入ることが可能となるのである。

経済活動や新たな地域活動が活発になることが予想され、より農業振興や農村の活性化につながるきっかけとなるものと期待したいのである。

南会津地方は、「南郷トマト」、「アスパラ」等の施設園芸の産地として知られ、農業や林業で支えられているが、農林業者の高齢化や後継者不足が課題となっている。地元にはこれといった産業があるわけではなく、建設業が唯一の産業として公共事業や冬場の除雪等にかかわっている地域である。

幸い、自然に恵まれており、「尾瀬」や「大内宿」な

ど観光や登山、レジャーなどを目的に多数の人が訪れる地域である。国道沿いには「道の駅」や「直売所」での農産物や加工品などの販売にも力を入れており、週末ともなると県外からの観光バスや車で買い求める人々でにぎわっている。

また、尾瀬を含めた自然体験や、農家に宿泊しながら田植えや農産物の収穫体験などをするグリーン・ツーリズム等の活動も盛んにおこなわれ、今年からは、国が進める小学生を対象とした宿泊体験の受け入れ可能なモデル地域の指定も受けた。

下郷町の集落では、地元で生産されたものを使った農産物の加工品の販売や、宿泊しながら農業ができる施設も整備計画が進められているという。

トンネルの開通により、県外はもとより県内の人たちにも遠くに感じていた南会津が気楽に訪れて過ごすことができるようになり、都市との交流や観光、そして、これらと結びついた農業が盛んになることを期待したいのである。

農村整備部長 坂下幸男

農林事務所からお知らせ

平成21年度福島県農業総合センター
農業短期大学校学生募集のお知らせ

福島県農業総合センター農業短期大学校(平成20年4月から専修学校化)では、農学部本科及び研究科の学生を下記により募集します。

詳細については、農業短期大学校または南会津農林事務所農業振興普及部(電話0241-62-5264)まで問い合わせください。

福島県農業総合センター農業短期大学校
農学部 教務管理入試担当

住所: 〒969-0292 福島県西白河郡矢吹町一本木446番地1

電話: 0248-42-4111 (代)

FAX: 0248-44-4553

| | 募集人員 | 試験日 | 願書受付期間 |
|-----|-----------------|------------------|---------------------|
| 本科 | 60名 (修業年限2年) | [農産学科] 15名程度 | 推薦入試 11月5日(水) |
| | | [園芸学科] 30名程度 | 一般入試前期 12月4日(木) |
| | | [畜産学科] 15名程度 | 後期 2月5日(木) |
| 研究科 | 若干名 | 研究科入試前期 1月23日(金) | 10月7日(火)～10月17日(金) |
| | | 後期 2月23日(月) | 11月13日(木)～11月21日(金) |
| | | | 1月13日(火)～1月22日(木) |
| | | | 1月5日(月)～1月13日(火) |
| | | | 2月2日(月)～2月16日(月) |



お問い合わせ先はこちら

〒967-0004

福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課

電話 0241-62-5252(4月から変わりました) FAX 0241-62-5256

電子メール minamiaizu.nourin@pref.fukushima.jp

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/norin-minamiaidu/>



ふくしま食と農の絆づくり運動

みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。



この広報誌はSOY(大豆油)インキを使用しています。